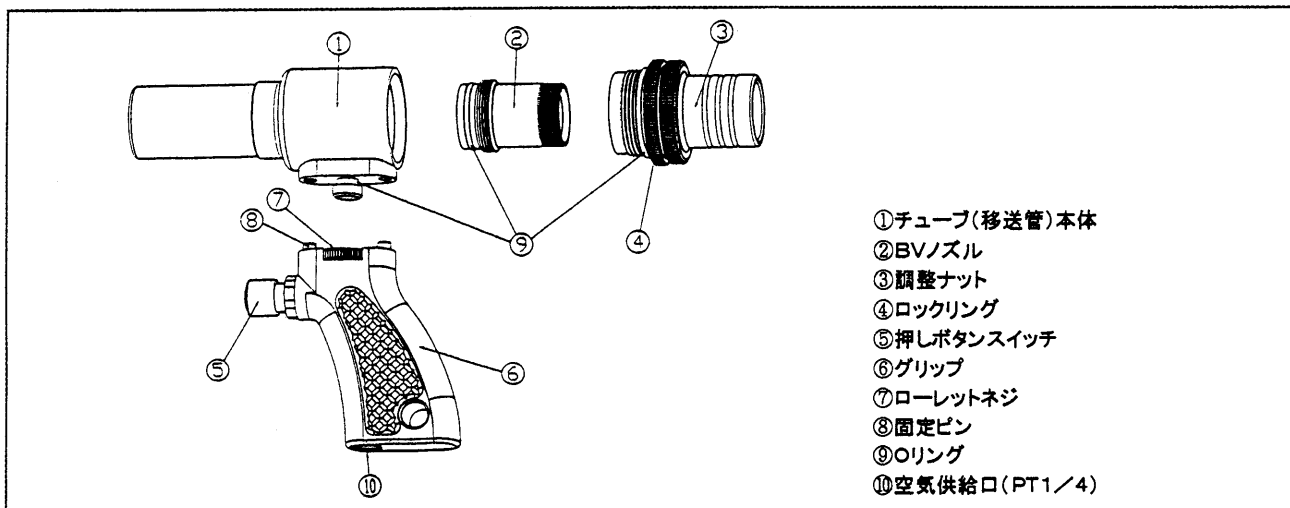


本製品は真空(負圧)の原理を応用して、周囲の空気(大気)を吸引することにより、供給エア(圧縮空気)量の約8~10倍の吐出空気量を得ることができます。またチューブ本体内部に装着されている(BVノズル)の向きを換えることにより、空気の流れの向きが変わりますので吸引と吐出の使い分けができます。内部には回転体がなく、摩擦等によるトラブルの心配がなく、末永く、多方面にお使いいただけます。

【各部の名称】



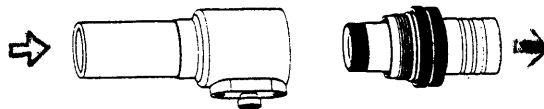
【ご使用方法】

空気供給口より圧縮空気を送り込んでください。押しボタンスイッチを押すと空気が吐出されます。供給口にはPT1/4の雌ネジが加工されています。

☆吸引・吐出の切り換え方法

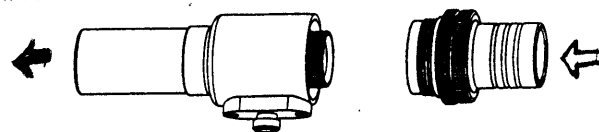
吸い込みで使用する場合
 チューブ本体よりBVノズルをはずし、調整ナットにBVノズルを最後までネジ込み、チューブ本体に装着してください。(右図参照)

吸い込み



吹き飛ばしで使用する場合
 調整ナットよりBVノズルをはずし、チューブ本体にBVノズルを最後までネジ込み、調整ナットをチューブ本体に装着してください。(右図参照)

吹き飛ばし



☆チューブとグリップの分離・結合の仕方

ローレットネジ⑦を左方向に回すとはずれます。またグリップ側の結合ピンとチューブ本体側のピン穴の位置をあわせ、右方向に回すと取り付きます。

☆流量調整の仕方

調整ナット③を右方向に止まるまでネジ込んだ位置が最低流量です。その位置より左方向に回すことにより空気の流れる隙間が広がり、流量及び力が増します。但し消費量も比例して多くなります。調整ナットにしるされた赤マークとチューブ本体の目盛りを目安に、最も効率のよい位置でお使いください。

《注意》

- ①工場出荷時は吐出の状態となっています。吸引でご使用の場合は上記を参照のうえ、BVノズルの向きを換えてご使用ください。
- ②空気供給口⑩にニップルやカブラを取り付ける場合は、必ずシールテープをご使用ください。
- ③Oリングには適時グリスを塗布してください。

警告!

吸引でご使用の場合は危険ですから、必ず集塵袋やホース等しっかり取り付けてください。また、吐出でご使用の場合は人には絶対に向けないでください。